

大学 ICT 推進協議会平成 24 年度事業報告（案）

1 総会の開催

- (1) 平成 24 年 5 月 31 日に、東京大学山上会館において第 2 回通常総会を開催した。
- (2) 主な決議議題は、次のとおり。
 - ① 定款の改正について
 - ② 役員の選任について
 - ③ 平成 23 年度事業報告について
 - ④ 平成 23 年度収支決算について
 - ⑤ 平成 24 年度事業計画について
 - ⑥ 平成 24 年度予算計画について
 - ⑦ 2012 年度年次大会について

2 年次大会の実施

- (1) 名 称 大学 ICT 推進協議会 2012 年度 年次大会
- (2) 期 日 平成 24 年 12 月 17 日（月）～19 日（水）
- (3) 場 所 神戸国際会議場（神戸市）
- (4) 結果の概要

① 参加総数：825 名（来賓等を含む）

参加登録者	当日参加者	来賓，全体会講師	計
561	89	3	653 名

	ブース数	出展者数 (2 名/ブース)	出展説明者数 (2 名/ブース)	計
展示会関係参加者	43 ブース	86 名	86 名	172 名

② 発表件数：130 件

	基調講演	企画セッション	企業セミナー	一般 口頭発表	一般ポス ター発表	計
発表件数	2 件	14 件	16 件	75 件	23 件	130 件

③ 企業展示数：38（31 社，6 大学（正会員），1 協議会）

3 WEB 及び会誌による情報発信及び新規会員勧誘の推進

- (1) WEB 及び会誌による情報発信
 - ① 協議会のホームページを構築し、情報発信を開始している。
 - ② 会員、部会専用のページを設け、運用を開始した。（平成 24 年 10 月）
- (2) 新規会員勧誘
 - ① 平成 24 年度当初は、正会員 50 機関，賛助会員 32 社であった。
 - ② 平成 25 年 4 月 1 日現在で、正会員 61 機関，賛助会員 35 社となっている。

4 他組織との連携

EDUCAUSE との間に、次のような連携を行った。

- (1) EDUCAUSE 年次大会での AXEIS イベント
 - 日 時 平成 24 年 11 月 6 日（火） 10:00～17:00
 - 場 所 Colorado Convention Center, Meeting Room 712（EDUCAUSE 大会会場内）
 - 参加者 日本からの EDUCAUSE 年次大会参加者 25 名

- (2) 本協議会と同等の機関による国際的な連携枠組み (CHEITA) の検討に参加
 日時 平成 24 年 11 月 6 日 (火) 12:00~15:00
 参加者 AXIES を代表して 安浦会長が参加
 (日本, 米国, カナダ, オーストラリア などの組織の代表者)

5 部会での活動

- (1) 再生 PC 寄贈プロジェクト (CIO 部会)
- 東日本大震災で被災した中小企業のため, 大学等で保有する PC を再生して寄贈するプロジェクトを東北 6 県商工会議所連合会, 日本商工会議所及び日本マイクロソフト社と合同で行った。
 - 平成 24 年内に約 2000 台の PC 寄贈の申し出が来ており, 年度末までに, 被災企業からの希望台数 (943 台) を再生し, 被災地企業に寄贈している。
- (2) 安否確認システムの共同開発 (CIO 部会, クラウド部会)
- 協議会会員での情報システムの共同開発の最初の試みとして, 安否確認システムの検討を開始した。
 - 現在, クラウド部会において, 会員大学の協力を得ながらシステム設計, 開発を進めている。
- (3) 「情報倫理デジタルビデオ小品集 4」の制作 (情報教育部会)
- 平成 24 年 4 月に, 放送大学から「情報倫理デジタルビデオ小品集 3」の著作権 (財産権) の移譲を受け, その続編として, 平成 24 年 11 月に「情報倫理デジタルビデオ小品集 4」を制作した。
 - 制作に当たっては, 「情報倫理ビデオ制作タスクフォース」を設け, タスクフォースのメンバー及びその所属大学の協力を得ながら進めた。
 - 平成 24 年 11 月 1 日にビデオが完成し, 12 月 17 日の年次大会から販売を開始した。
 - DVD での販売の他に, 大学向けのライセンス販売, 生協が販売する PC にプリインストールして販売するなどの方法で販売している。
- (4) 年次大会での各種セッションの企画, 実施 (実行委員会及び各部会)
- ア 実行委員会企画セッション

タイトル	オーガナイザ
今の情報教育はもう古い!: コンピュータリテラシーから情報リテラシーへ—京都大学の事例—	田中 克己, 浅野 泰仁 (京都大学)
高等教育機関におけるソフトウェア著作権について 大学で作成されるソフトウェアの著作権について 本間 高弘 (電気通信大学) 九工大におけるソフトウェア著作権の運用について 萩原 康幸, 中村 邦彦, 大橋 健, 吉田 隆一 (九州工業大学) 教材の電子化・流通を促進させる著作権対処とシステムへの導入 今田 智勝 (国立情報学研究所), 辻 秀典 (情報セキュリティ大学院大学), 田村 恭祐 (国立情報学研究所), 副島 義男 (大学共同利用機関情報・システム研究機構) 愛媛大学における著作権への取り組み 小林 真也, 平田 浩一, 関根 康男, 松本 長彦, 竹内 康博, 庭崎 隆, 松本 八郎 (愛媛大学)	大橋 健 (九州工業大学)
Open Education Resource—世界の動き、日本の取り組み	竹村 治雄 (大阪大学)

イ 部会企画セッション

タイトル	部 会	オーガナイザ
大学における情報セキュリティ教育	C I O部会	岡本哲治, 相原玲二 (広島大学)
大学間連携のためのアカデミッククラウド	C I O部会	美濃 導彦 (京都大学)
「京」コンピュータの見学	C I O部会	藤村 直美 (九州大学)
高校の新学習指導要領を見据えての大学の情報教育 新学習指導要領に基づく小中高校での情報教育 西野 和典 (九州工業大学)	情報教育部会	西野 和典 (九州工業大学)
ソーシャルメディアの展開と情報倫理教育 —使ってみませんか?新しいビデオ教材 by AXIES— 情報倫理ビデオパート4のできるまで 中村 純 (広島大学)	情報教育部会	中村 純 (広島大学)
Moodle に求める機能 (改善) に関するオープンセッション～情報・意見交換フォーラム～	オープンソース技術部会	大西 淑雅 (九州工業大学) 中野 裕司 (熊本大学)
Sakai を中心とした教育基盤構築の現状と今後の展開	オープンソース技術部会	梶田将司 (京都大学) 常盤裕司 (法政大学)
学術・教育コンテンツの開発・蓄積・利活用に向けた先進的アプローチ	学術・教育コンテンツ共有流通部会	元木 環 (京都大学) 重田 勝介 (東京大学)
認証連携の「いろは」とケーススタディ	認証連携部会	山地 一禎 (国立情報学研究所) 松浦 健二 (徳島大学) 伊藤 智博 (山形大学)
大学におけるクラウド利用のニーズとシーズ 日本学・日本研究における国際アクセス環境構築に向けたパイロットプロジェクト e-Japanology について 辻澤 隆彦 (東京農工大学)	クラウド部会	棟朝 雅晴 (北海道大学)
安否確認システムの共同開発・共同運用における現状と課題	クラウド部会	梶田 将司 (京都大学)

(5) 外部機関とのイベント共催による研究会等の開催

(例)・MOOCs と電子図書館のための国際セミナー (2013年2月24日・25日) など